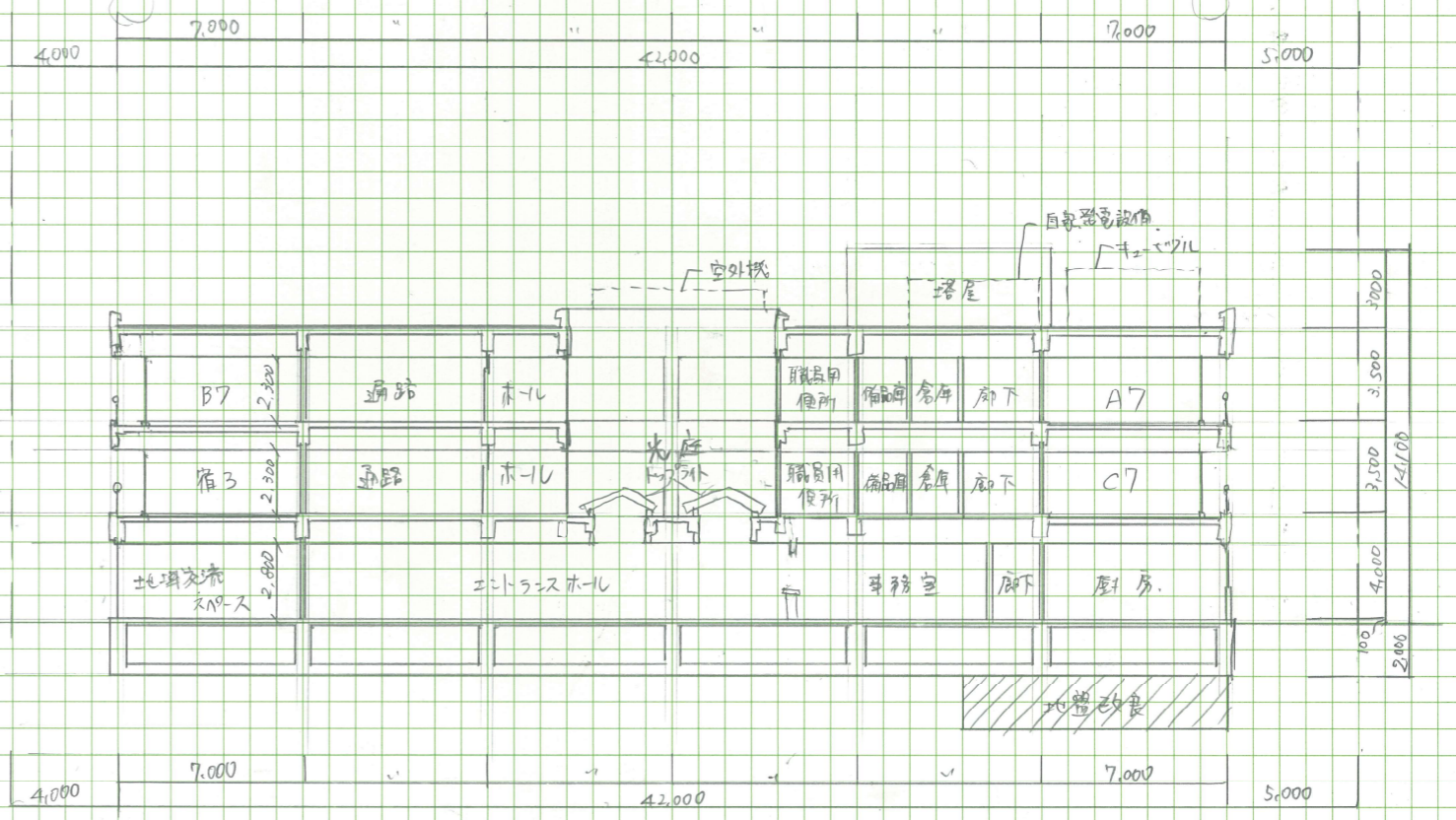
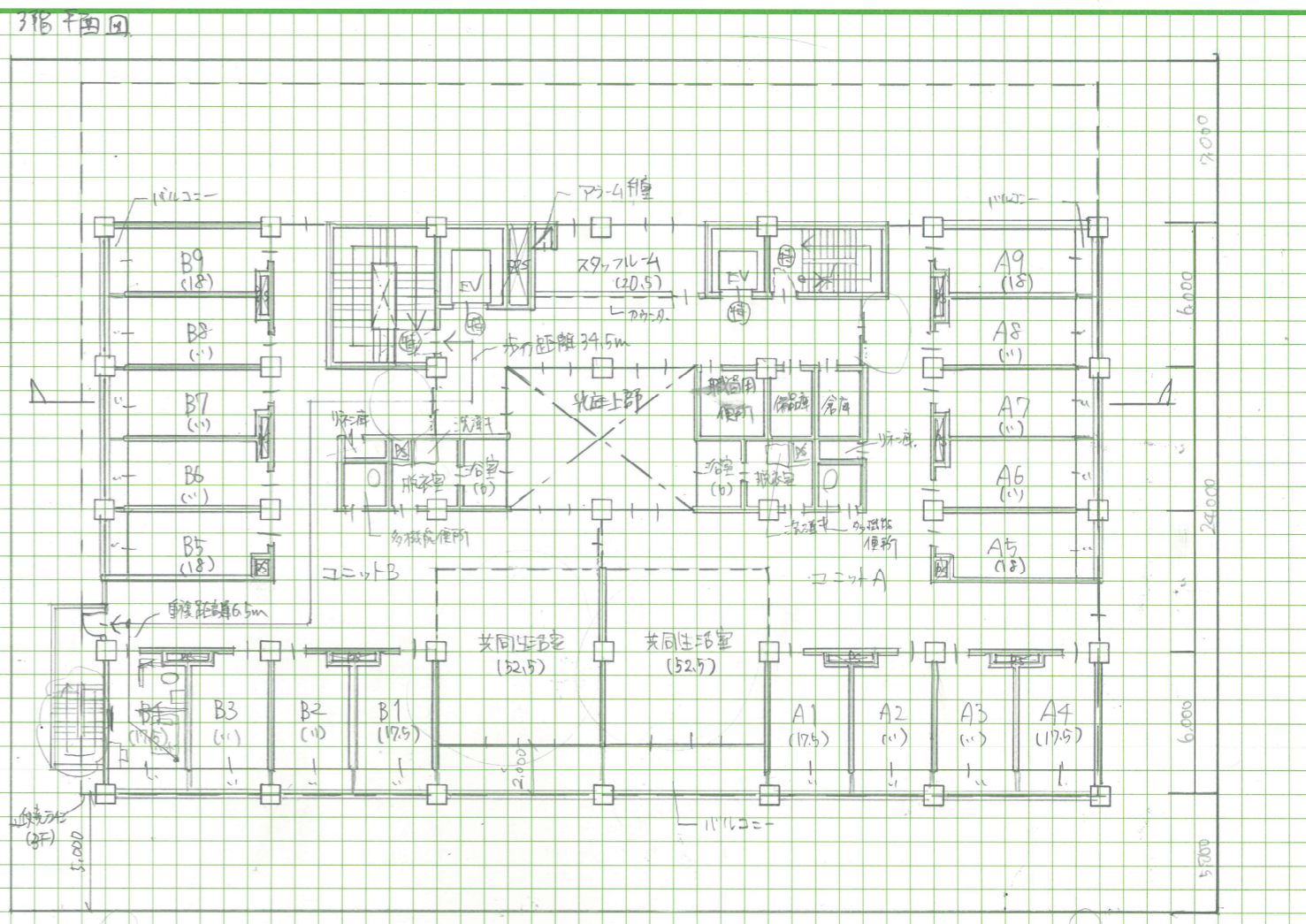


2階平面図



面積表 (算定式は、算出過程がわかるものとする。算出結果は、小数点以下第1位までとし、第2位以下は切り捨てる。)		製図試験.com 答案用紙 I	エスキース	提出	添削
建築面積	(算定式) $42 \times 24 + 8 \times 5.5 + 2.2 \times 7 = 1067.4$	1067.4 m <sup>2</sup>	所感	分	添削
建ぺい率	(算定式) _____	%	要点	分	詳細No
床面積	3階 (算定式) $42 \times 24 - 8 \times 6 - (28 \times 1 + 14 \times 2 + 1 \times 15 + 1 \times 15) = 874$	合計 2756.0 m <sup>2</sup>	作図	分	
	2階 (算定式) $42 \times 24 - 8 \times 6 - (14 \times 1 + 2 \times 2 + 1 \times 15 + 1 \times 15) = 874$		ID	201110	
	1階 (算定式) $42 \times 24 = 1008$		ハンドルネーム	いしまる	

建築計画、構造計画及び設備計画について、次の要点等を具体的に記述する。

なお、要求図面では表せない部分についても記述する。(1)(3)(5)の図示は必須

(1) 居住部門の個室の計画において「入居者の住みやすさ」及び「介護のしやすさ」について考慮したこと

	<p>(入居者の住みやすさ)</p> <p>部屋の出入口と水回り部分の扉は引戸とし、それぞれ幅1.2m、0.9mを確保し、車いす使用者・高齢者に使いやすさを配慮した。また、部屋の中心水回り部には、1.5m<sup>2</sup>のスペースを確保し、車いすの回転できる十分な広さを確保した。</p>
	<p>(介護のしやすさ)</p> <p>出入口と水回り部に十分な幅を確保し、室内と水回り部に広いスペースを確保するとともに、ベッドを縦置きと横置きに転換できるようにし、入居者それぞれに合った介護ができるよう配慮した。</p>

(2) 居住部門及び居宅サービス部門のスタッフルーム等介護に必要な諸室の配置について考慮したこと

スタッフルームは、建物北側のメインコア横に計画し、入退き回りを行うとともに、利用者がわかりやすくなるように、利便性に配慮した。また、食事動線等が別のユニットを通過しないよう配慮するとともに、それぞれのユニットの独立性が確保できるように配慮した。

(3) 共同生活室及びデイルームについて、自然光を取り込みつつ、冷房時の負荷抑制を図るために建築計画において工夫したこと(Low-Eガラスを仕様する工夫を除く)

	<p>共同生活室とテイルムは、2m幅のバルコニーを計画し、夏期の直射光が室内に届かないよう遮蔽するとともに、冬期の直射光を取り入れ、自然光を確保できるように配慮した。</p> <p>また、バルコニーの手前は金属性として、手前の間から十分に光を取り入れられるよう配慮した。</p>
--	---

※要点・図面・エスキースの裏面には念のため、氏名をお書き添えください。

(4) 建築物の構造計画について、建築物の特性の応じて採用した構造種別・耐震計算ルートとそれらを採用するにあたり、耐震性を確保するために考慮したこと

ルート 1・2・(3)

建物の用途を考慮し、大地震時においても建物の安全となるよう、保耐力耐力を確保し、詳細な検討を行い、建物の健全性を確保するとともに、それを外部にアピールする価値を高める。

(5) 車寄せの屋根・庇などとなる部分の寸法、有効高さ及び車寄せの屋根、庇などの構造計画(各種寸法、部材の材質、支持方法及び耐震性等)について考慮したこと

	<p>(寸法) 8000 × 5500 × 600 (有効高さ) 3000 S梁合せ</p> <p>主出入口と車寄せが雨にかからないようにするため、5500の出入口の底を計画したが、片持ちでは成り立たないため、庇の中央付近でS柱で支持しS梁を架け、風の吹出しが庇の自重に十分に抵抗できる構造とした。</p> <p>また、基礎は経済性に考慮して独立基礎とした。</p>
--	---

(6) 地盤条件や経済性を踏まえた、支持層の考え方、採用した基礎構造とその基礎底面のレベルについて考慮したこと

建物の用途を考慮し、不同沈下が生じにくく、地下ポットを設備用に有効に活用できるベタ基礎を採用し、支持地盤はGL-2.0mとし、既存建物の埋戻し部分は掘削の後、浅層混合処理による地盤改良を行い、十分な支持力が確保できるように配慮した。

(7) インフルエンザやノロウイルスへの対策について、建築計画や設備計画において考慮したこと

建物の中央付近に、2,3階で光庭と開閉式トップライトを計画し、建物南側の大型開口部から自然通風を確保し、光庭に風が流れるようにし、十分な換気量を確保できるように配慮した。

(8) 高齢者介護施設としての空調方式について、採用した空調方式とその理由

(採用した空調方式) 空冷ヒートポンプ(パナソニック方式(天井カセット型)) + 全熱交換機

天井の高い大空間も兼ね、十分な冷暖効果が得られると判断し、空冷ヒートポンプを採用し、個別空調と経済性に配慮した。また、外気負荷を抑制するため、全熱交換機による第一種換気方式を採用した。

山口達也さま

いしまるです。

今回の製図試験では、大変お世話になりました。

いつも先生の講義に参加し、しっかりとわかりやすく解説してくれて、とてもためになりました。(あと、先生の顔を見ていると、なんだか少し和んで、試験疲れも癒やされておりました。笑)

実は私は今回の受験で4回目にして、昨年カド番を落としていました。

今年は学科から独学で勉強し直し、突破して今回の製図に臨んでいました。

今回の試験の所感としては、正直プランはかなりよくできたと思っています。(見てもらわないと分からないところもあるとは思いますが…)

ただ、むしろ簡単にできすぎてしまい、他の受講生も今回は簡単にできると考えてしまい、図面を少しでもきれいに書こう、と思ったのが間違いでした。思いのほか作図量が多いことが見抜けておらず、最後の方で疲れと緊張で意識が散漫としている中で、最後まで多少書ききれませんでした…。

「難しい年は書き切れれば良い、簡単な年は質勝負になる」というお話を聞いていたので、“質=きれい”と試験当日の極限状態で勘違いしてしまっていて、質といっても作図量的な話をしていたと思うので、とにかく書ききってから書き込み量の質であったなど、終わってから思い出して、後悔とまではいきませんが、少しその点は反省点でした。

終わってから再現図を書くのは、これまでの試験ではだめだとわかっていた部分も大きく、精神的に辛くなっていたので、書きませんでした。今回はしっかり書きました。

今までの試験よりは手応えがあるのですが、それでもできていないところなどがあるので、精神的にグサグサと書いていてつらくなりました…;

思うところは色々ありますが、今回再現図を書いて、もう終わったことなので結果を待つだけだと割り切り、パッと手をはなして、現実に戻るようにします。

先生のいうように、受かった合格記念になるのか、来年の振り返り用になるのか、どうなるかわかりませんが、どちらにしても、至らなかった部分を含め、自分のできることは出しきった気がするので、その点では後悔はないです。(できれば受かりたいですが…笑)

本当に先生の講義がたのしく、課題・資料もとてもためになりました。

おかげで、当日のエスキスが簡単にできたのだと思います。

あと、Udemyもよかったです。(中で先生がちょろっと言っていたのですが、全室リストはプランニングに入れ込む際のサイズでそのまま入れれば良い、的なのが割と衝撃で、それを使えるようにエスキスを改良してから、プランニングのレベルが格段に上がりました!)

添削のほど、何卒よろしくお願いします。

本当にありがとうございました。

いしまる

### 【再現図でミスしている部分】

#### ● 影響大きそうなもの

- 1) ○防忘れ：2階（南側浴室部、東側廊下端部）3階（東側廊下端部）  
（延焼ラインのライン上で見づらかったとの試験の極限状態で見きれなかった…）
- 2) 断面図にて、“1FL”～“建築物の最高高さ”の表記忘れ（試験終了後見て気づきました…）

#### ● 確実に減点となるもの（書ききれなかったもの）

- ・敷地内通路
- ・居住部門の玄関
- ・共同生活室の食事スペースなどの表記

#### ● 減点となるかもしれないもの

- ・人荷用EVを、「利用者・サービス兼用」とした。  
（1階平面図にちょこっと表記したのも見づらかったかもしれない…）
- ・2階のデイに洗濯室を作り忘れた。
- ・エントランスホールがやたらと広い（地域のイベントや展示会を開くなどをする、と書く  
うと思ったが、頭が少し真っ白になっていて書けなかった）
- ・ダイルームの「キッチン、食事、キノウ、ラウンジ」と最後に書きなぐった（汚い、ラウ  
ンジが明らかに狭い）
- ・植栽はくねくね書いたが、樹木はない。
- ・断面図にて居宅サービス玄関の表記がない（平面図はさいごに書きなぐったため）
- ・3階の歩行距離、長い方にのみ距離を書いてしまった（屋外階段の方は書かなかった）

#### ● 記憶があやふやなもの（表記上）

- ・2階、ダイルームと共同生活室の部分のマド表現し忘れたかも？
- ・屋外階段の矢印表記したか不明
- ・事務室の面積少し大きく表記したかも（51?）

●大丈夫だと思うが、もしかしたらな部分

・西側屋外階段の斜線制限

→ 屋外階段を柱を避けて通れるように長さ 7m で計画。

( $7\text{m} < \text{接道距離 } 36\text{m} \times 1/5$ ) なので、後退距離に影響を与えないと判断した。

もし、後退距離に影響があって、屋外階段上部に庇があると判断されると、

$(1.8+4+1.8) \times 1.25 = 9.5\text{m}$  で引っかかる。

建物側は、ギリギリ避けれていると判断。

$(1.8+4+3.6) \times 1.25 = 11.75 > 11.6\text{m}$  ( $4+3.5+3.5+0.6$ )

以上、とりあえず、作図のミスと思われる箇所をピックアップしました。

もっと大きなところがあるかもしれませんが、よろしくお願いします。

以降は、当日の流れなどを書いています。

(読まなくても大丈夫です。一応書いてみましたが長文になってしまったので…)

## 【試験当日】

- 9:45 試験場到着。開場していそうだが、外は雨降っていないし、ベンチに座り、イヤホンで音楽を聞きノリノリになりながら、資料を振り返る。落ち着かせるのと念の為検温のおでこの温度も下げる。
- 10:10 資料のキリが良いところで、入場も減ったので試験場に入る。検温問題なし。
- 10:20 大空間ホールの試験場、マチの少し狭い横長につながった机（大学によくあるもの）に製図板をセットする。右前に座る人とぶつかりそうな位の距離。
- 10:30 音楽を聞きながら、資料を読む。音楽は少し聞き足りなかったが、持ってきた資料は一通り見直した。
- 10:50 試験用紙が配られる。左前の受験生が、明らかに作図用紙を表にして見ている。笑  
あげくに、要点の記述用紙も見ている。笑 気にしない。気にしない。  
(……横長敷地か。笑)  
(本当は良くないのだろうが、今までの年は誰か貼り出す人がいて、その流れでみんな貼っていたが、今年はそれはなかった。)
- 11:00 試験開始。A2 サイズの用紙は割と普通なので、特に気にならず、問題なさそうだ。まず軽く、敷地形状だけ確認した。隣地隣地、道路道路…。斜線と採光をしっかりしなくてはいけないと思いながら、マーカーを引き始める。
- 11:20 マーカーがいつもより少し時間がかかるものの終わり、エスキス用紙に条件をまとめ始める。
- 11:40 特に問題なく、進んでいる。
- 12:35 倍コマのプランニングなんとなくできた。細かいユーティリティゾーンができていないが、これで行くか、最終確認を始める。  
面積は問題ない、主要室も入っている。斜線と採光も問題ないと思う。プランもいいと思う。  
…でも試験となると、何度見ても不安になる。年に一度しかない試験のミスできないという緊張感。そわそわして、浮足立っている。確認をしようにも頭の中で色々考えているため、確認しても確認しきれないような感覚。すこし甘いものをとったが、変わらず。とりあえず、要点を書き始めることに。
- 12:45 要点を書き始める。そんなに難しい問題ではないが、何を書くか少し悩む…とりあえず書きやすそうな構造あたりから書くことに。  
…とりあえずルート3にした。上位互換だし、と…  
しかしながら、手が震えていた。自分でも驚いた。うまく文字が書けない。  
本当は休憩を少ししっかり入れたほうがいいのだろうが、当日の自分にはその冷静な判断もできないほどに、試験に向きすぎていた。少し距離が近すぎたと思う。
- 12:50 すこしずつ、手の震えは少なくなってきた。割と時間も余裕がある（とこのときは判断した）ので、要点の図をバンコの三角定規で書き始める。少し書きづらいけど、そ

のまま書いた。小さいものもあったが、出してなかった。普段手書きでさっと書いてしまうので…

(ちなみに、今回の答案用紙には、5mm 間隔? くらいのドットが表記されていて、きれいに書けと言われているような気がした。)

13:45 一時間ちょいくらいで要点書き終わり。(45678321 の順で書いた。)

少しお茶を飲む。

13:50 作図開始。時間はありそうなので、少し丁寧に書こうと思い書き始める。(このときは、作図量は普通だと思っていた。)

14:00 作図用に色々書きやすいシャーペンを試した結果の TSUTAYA オリジナルブランドの HEDERA のシャーペンを使っていたが…まさかの芯づまり…!?

初めてだけど…なんだか、一体で外れる仕組みで、細かい芯がとれず少し焦る。

(芯づまり直せないかも? 問題はありますが、それを除けば、かなりのおすすめですよ。かなり持ちやすいです。)

とりあえず諦め、替え用のシャーペンを準備していたので、それを使う。

13:20 1/400 は書かない方針で、試験直前に習得し、細かいプランはここで下書き線で面積を確保していく。とりあえずいいか…とは思うものの、何度見ても不安が拭えない。とりあえず書き続ける。

15:20 作図から 1 時間半くらい。いつもよりも少し時間がかかっているが、丁寧に書いているし、と思いながら、プランのことで二方向避難用の屋外階段をやはり計画しないといけなかな、必要なら書かなきゃ…と思いながら、他の作図を書いていく。(屋外階段は必要ならつけようとしていて、正直、ここで考える必要はないことだけれど、頭にずっと残ってしまっていて、すこしペースが落ちたり、緊張感が強まったこともあったと思う。)

16:00 作図から 2 時間ちょい。まだ時間はあるけど、あと 1 時間半か…意外と時間ないかも…少し急いで書かないと…。

(ちなみに、普段作図は苦手で、色々取り組みましたがいつも 3 時間弱~3 時間くらいで、安定はしていたが限界なところでした)

16:30 利用者用階段  $6 \times 4.5$  の回転階段だから、反対側に避難時のみの開口を開けられないと発覚。やはり屋外階段必要そう。屋外階段を書き始める。

5m だと柱型あるのでだめだ、7m と…。幅は…斜線の判断はどうなるのかな。(計算) 2.5 だと緩和されないときアウトだ。2.2 で…ギリギリ OK そうだ。焦りながらも書く。

16:40 屋外階段を書いたり、ほかも書いたりしているが、正直意識が飛んでいた。漫然とした感じでとりあえずかけるところを書いている感じ。試験の緊張がたたって、正直頭が回らなくなっていたのだと思う。試験の長時間と緊張による疲れは侮れない

17:20 とりあえず、かけるところを書いてきたけど、書ききれない…でもできるだけ書かなきゃ…

17:28 デイサービス用玄関…。デイサービスのキッチン、食事、キノウ、ラウンジを書きなぐる。…もう時間ない…最後に大きく見渡す…訪問介護事務所の面積がない…えっと…26！（はいやめ！終了です！！）

17:30 満身創痍で終わり。試験官が回ってきて、テープを剥がし忘れていて、少し意識飛びながら剥がし、用紙の表面が剥けてしまった…仕方ない。提出。

17:45 色々あたまから離れないが、家路につく。  
とりあえず、試験は終わったんだと、放心状態でした。

#### 【試験直前の勉強（参考）】

試験前は、先生の資料が本当にとてもためになり、先生の資料を読み込みまくりました。  
具体的には…

- ・「今までの課題の敷地等条件のまとめ資料」で道、公園、隣地に色塗りし、「各課題の答案」をゾーニングごとに色分けし、見比べました。
- 敷地をイメージ、基準階はどちらに向けていいのか、1階は共用・管理のゾーンがどう来るかを、理由が言えてイメージできるくらいに叩き込んだ
- ・他のまとめ資料の追加プランも同じことをして、コアを含めて、敷地との関係で建物全体をイメージできるようにした。

先生が言っていた、「1階と基準階の関係」を特に意識しながらやっていたので、プラン自体は苦にならないでまとめられたのだと思います。

その他、

- ・過去にまとめた自分の要点記述ノートなどを見直し。
- ・吹抜けの作り方を考える
- ・室面積ごとの廊下の通し方パーツを作成したのを見直し。



### 【過去の受験（参考）】

ちなみに過去の受験ではこんな感じでした

H29（よくわからない変な学校に入ってしまう、よくわからないまま受験）：

試験では、エスキスがまとまらず、L型を発見した（準備はできていなかった）ものの、エスキスが3時間かかり、作図しきれずランク3。

H30（TAC）；かなりきれいなプランが2時間できたと思い見直しをしたら、建ぺい率オーバーしてしまっていて、大手術。30分で仮プランをつくり書きながらプランをつくるも、書ききれず、ランク3。

R1（他の通信添削）：エスキスがまとまらず、2階がきつくて入り切らず。正直頭が真っ白になりながらエスキス2時間半の段階である程度できたところで図面を書き始める。吹き抜けの位置が角のカフェの上になってしまい、ランク2。（少し移動させれば吹き抜けを真ん中に作れたプランだった）

→ ちなみにこれで吹き抜けは重要だと思ったので、どうすれば作れるかを今回の試験直前になって考えたりした。結局部屋の真ん中にある、室として面積を確保することがプランニングしやすいと考え、スパン数によってどういう計画にできるかを考えて試験に臨んだ。